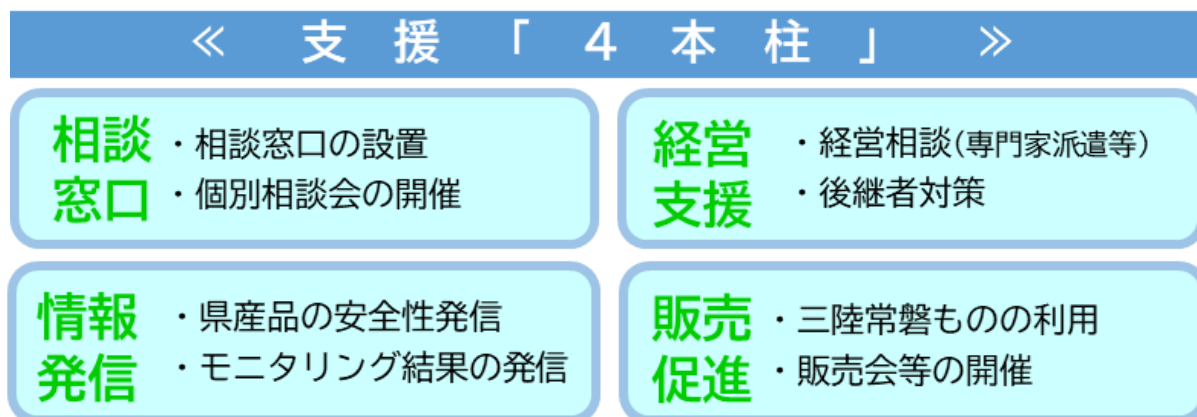


みやぎ水産応援パッケージについて

本年8月24日から東京電力福島第一原子力発電所 ALPS 処理水の海洋放出が始まり、一部の国においては日本からの水産物輸入禁止措置が講じられるなど、水産業界関係者や輸出関係事業者に影響が出始めております。

県では処理水海洋放出の影響を緩和するため、緊急的に「4本柱」の支援を行い、国の支援メニューと一体となり、食品の安全性やみやぎの魅力を PR、事業者に寄り添った支援を推進し、食品の消費拡大と関連産業の経営安定を図ります。

1 「4本柱」の支援



2 詳細

別添資料のとおりです。

本年8月24日から東京電力福島第一原子力発電所ALPS処理水の海洋放出が始まり、一部の国においては日本からの水産物輸入禁止措置が講じられるなど、水産業界関係者や輸出関係事業者に影響が出始めております。

県では処理水海洋放出の影響を緩和するため、緊急的に「4本柱」の支援を行い、国の支援メニューと一体となり、水産物の安全性やみやぎの魅力をPR、事業者寄り添った支援を推進し、**水産物の消費拡大と関連産業の経営安定**を図ります。

「 支 援 「 4 本 柱 」 」

相談窓口 ・相談窓口の設置
・個別相談会の開催

経営支援 ・経営相談(専門家派遣等)
・後継者対策

情報発信 ・県産品の安全性発信
・モニタリング結果の発信

販売促進 ・三陸常磐ものの利用
・販売会等の開催

応援メニュー

【相談窓口】

- 処理水の海洋放出に関する漁業経営相談窓口の設置** NEW
→融資制度の相談、経営アドバイス、専門家派遣など
- 処理水の海洋放出に関する損害賠償請求説明会・個別相談会の開催** NEW
→10月中旬から延べ4~6回開催を想定

【経営支援】

- 漁業経営サポート資金の発動** NEW
→500万円上限/者、償還期間2年(据置期間1年)、無利子
- 次世代漁業人材向け漁船等導入支援**
→若手漁業者の定着に向け、独立・自営に必要な漁船・漁具の導入支援

【情報発信】

- 県産水産物PR応援キックオフイベントの開催**(9月22日) NEW
- みやぎ原子力情報ステーション等の充実強化
- 水産物安全確保対策事業(放射性物質検査)

【販売促進】

- 県庁食堂での三陸常磐ものの利用**(9月26日~) NEW
- 県庁1階ロビーでの販売会の開催**(9月26日~) NEW
- 水産加工品等の販路開拓強化支援(商談会支援、ポイントアップキャンペーン)
- 輸出基幹品目販路開拓(カキ・ホヤ)
- 東南アジア宮城県産品マーケティング支援 など



(参考) 国の支援(9月5日時点)

「水産業を守る」政策パッケージ

NEW

- | | | |
|-----------------|---|--|
| ①国内消費拡大・生産持続対策 | } | 1,007億円
(内訳)
300億基金
500億基金
207億予備費 |
| ②風評影響に対する内外での対応 | | |
| ③輸出先の転換対策 | | |
| ④国内加工体制の強化対策 | | |
| ⑤迅速かつ丁寧な賠償 | | |

「 基金事業、通常メニュー 」

【相談窓口】

○ALPS処理水放出に関する風評影響専用ダイヤル など

【経営支援】

- 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策(農水省)
- 次世代漁業人材確保支援事業(水産庁) など

【情報発信】

○環境省、原子力規制委員会、東京電力が実施したモニタリング結果の一元的発信(環境省) など

【販売促進】

○三陸・常磐ネットワーク(経産省、基金) など

今後も事業者からの意見を伺いながら、必要な施策に取り組んでまいります。